

救急車の応需率

救急医療の機能を測る指標であり、救急車受け入れ要請のうち、何台受け入れができたのかを表しています。本指標の向上は、救命救急センターに関連する部署だけの努力では改善できません。救急診療を担当する医療者の人数、診療の効率化、入院を受け入れる病棟看護師や各診療科の協力など、さまざまな要素がかかわります。

計算式

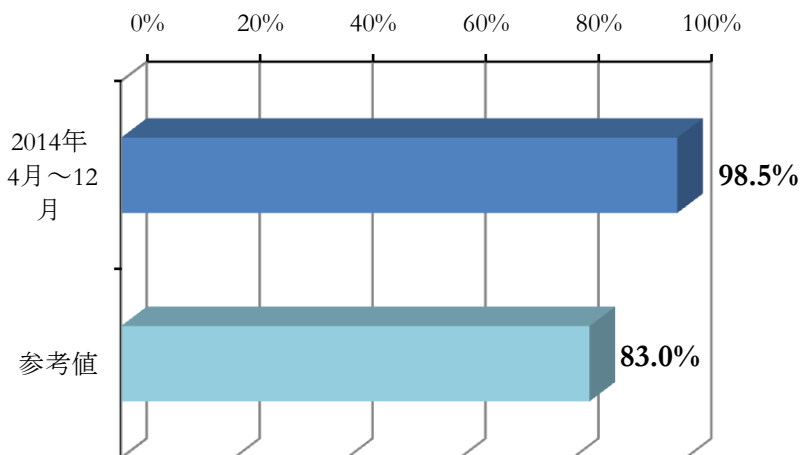
$$\frac{\text{分子: 救急車で来院した患者数}}{\text{分母: 救急車受け入れ要請人数}} \quad (\%)$$

～当院はどうか??～

当院の受け入れ状況は、2014年4月から12月までの平均で、98.5%でした。

重症患者の対応中等で受け入れ要請に対応することができないケースがありますが、可能な限り受け入れをし、救命救急センターとしての役割を果たしています。

救急車応需率



※参考値: 2014年 日本病院会QIプロジェクト病院の平均より

救急車受け入れ台数推移

